

—地産品を活用、冷凍介護食で高齢者を元気に—

09

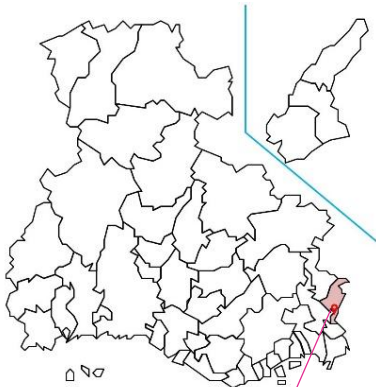
プラスワングループ

6次産
業化

地産地消

企業との
連携

雇用



川西市



加東セントラルファームの収穫風景



冷凍介護食の製造風景



盛付後の製品

概要

- ・新鮮な地産品を新鮮な状態で提供できる高いレベルの冷凍技術を用いた冷凍介護食の製造と販売を行う。
- ・冷凍介護食は、地域農産物にこだわり、福祉施設と連携して製造。大規模製造による効率化を図ることで物流費等が大幅に削減され、材料費に経営資源を投入可能となった。
- ・生産部門の加東セントラルファームも農地を拡大し、原材料の供給量を増加。更なる地産品活用のため、水耕栽培設備を整備し、野菜栽培を開始。

成果

- ・開始4年目で売上163百万円を計上し、一定の利益も確保。
- ・加東セントラルファームは休耕地を借り上げて規模を拡大。米の出荷量を増やし、所得向上を達成。
- ・子育て世代を中心に約25名を新規雇用し、地域の雇用創出に貢献。
- ・冷凍介護食のメニュー数 0 (H30) → 600 (R4) に増加。
- ・冷凍介護食の活用により食品ロス削減を達成し、環境大臣賞を受賞。余った食材を子ども食堂へ寄付。